

# 商工観光部編

## はたらく「場」づくり

市の政策を連載で紹介いたします。  
第2回は商工観光部。産業振興を担当する  
商工観光部の注目施策を紹介いたします

### 注目1 産業団地の拡張・テレワーク 市民の働く場所・働き方を創出

#### 新たに3企業が進出

安曇野市は、電気機械関連産業が集まる松本・諏訪地域にも近接し、さまざまな製造業が操業している田園産業都市です。これらの産業により雇用が生まれ、働く人の移住にもつながっています。また、市の法人市民税のうち製造業が占める割合は高く、法人市民税の主な収入にもなっています。

一方、市内7カ所にある既存の産業団地の分譲地は完売しており、企業の進出希望に対応できないといった課題がありました。そこで「地域未来投資促進法」を活用し、あづみ野産業団地（豊科高家）を北側に拡張する造成工事を行い、本年5月にしゅん工しました。

新たに造成した分譲地は、進出希望があった企業3社（食品製造

業1社、電気部品製造業2社）に売却され、各企業は、令和4年度中の操業開始に向け準備を進めており、雇用の場が生まれることが期待されます。

#### 多様な働き方を支援

ワークライフバランス（仕事と生活の調和）や、多様な働き方への対応が求められています。令和



テレワークセンター内部

元年度に開所した「安曇野市テレワークセンター」は、子育てや介護、体調面などさまざまな理由からフルタイムで働くことが難しい人が働く施設です。

テレワークとは、職場やオフィスに通わなくても、ICT（情報通信技術）を活用して、自宅やコミュニティスペース等でパソコンを使って仕事をする就労方法です。現在、女性を中心に市民45人がセンターにワーカー登録し、個々の都合や、能力に合わせて民間事業者から委託されたデータ入力などを行っています。業務を通じて、ワーカー個人のパソコン等の技能向上も図られ、再就職時の支援にもつながっています。

市では、テレワークの先進自治体等と協力して、ワーカーの能力向上や、環境整備、業務の受注を行い、ワークライフバランスに関する取り組みと連携しながら、さまざまな働き方を支援していきます。

### 注目2 安曇野市地域通訳案内士養成講座 英語登山ガイド等を育成

#### 県内でも先進的な取り組み

市では、世界水準のガイド技術を持ち、外国人旅行者にも対応できる登山ガイド・まちあるきガイドの養成に取り組んでいます。これは、通訳案内士法に基づく地域通訳案内士制度を活用したもので、県内でも先進的な取り組みです。

本年は、市内外から登山ガイドに8人、まちあるきガイドに11人が参加。海外でガイド経験もある講師を迎え、英語でコミュニケーションをとりながら、海外のガイド養成課程に準じたガイド方法や



登山ガイド講習の様子

野外救急法、安全管理などを学んでいます。受講後行われる修了試験の合格者は、市の地域通訳案内士に登録され、市内でガイドとして活動できます。市では、毎年、14人を目標にガイドを養成していく予定です。

#### 観光地ブランド力向上を目指す

雄大な北アルプスとその麓に豊かな田園が広がる安曇野は、松本・白馬といった観光地も近く、毎年、多くの人が観光に訪れています。一方で従来の通過型観光から滞在型観光への転換、個人旅行化や登

山も含めたアウトドア志向の高まりといった旅行ニーズの変化への対応、訪日外国人旅行者回復を見据えた県の推進方針への対応といった課題がありました。

市内には、北アルプスや天蚕、わさびなどの地域資源や、数々の立ち寄りスポットが点在しています。外国人旅行者にも対応できるガイドを充実させることで、課題の克服や、旅行者の受入体制の充実と満足度の向上、他の観光地との差別化につなげ、市の観光地としてのブランド力向上を目指します。

また、観光誘客だけでなく、育成ガイドの市内への移住促進や雇用機会の創出、他の観光事業者との連携による新たなビジネス創出なども期待されます。

### 商工業・観光振興、雇用対策、交流人口拡大など

#### 商工観光部の仕事

商工労政課・観光交流促進課の2課で構成されます。商工業振興や雇用対策、企業誘致、観光情報発信、北アルプスや天蚕などの地域ブランド化、安曇野ハーフマラソンといった観光イベントによる交流人口拡大、安曇野しゃくなげの湯等の施設整備なども担当しています。



「信州安曇野田んぼアート」が安曇野スイス村(豊科南穂高)で9月26日まで開催中です。お出かけください。

### Q 商工観光部の役割とは

新型コロナウイルス感染症対策をしながら地域の経済活動を維持するため、「安曇野つなぐプロジェクト」と銘打ち、市と商工会、観光協会が連携し、事業者の支援策に取り組みました。今後もワクチン接種完了後を見据え、縮小した経済活動の早期回復を目指して引き続き対応していきます。

田園産業都市を目指す本市にとって、産業の振興や事業者支援、雇用対策などを担う商工観光部は、その責務が大変重いと感じています。時代の変化やニーズを的確に捉え、商工業の振興や、安曇野ブランドを生かした観光振興を図り、安曇野が豊かで活気あるまちになるように取り組んでいます。

### 一口メモ

#### 地域未来投資促進法

県と市町村とが共同で計画を策定し、国の同意を得た促進区域において、地域を牽引する企業の立地等を行うとすると開発要件が緩和されます。企業は「地域経済牽引事業計画」を作成し、県の承認を受けた場合、一定の要件の下で行政支援を受けることができます。

#### 地域通訳案内士

訪日外国人旅行者の増加等に対応するため、平成30年度の改正通訳案内士法により、新たに設けられた制度です。特定の地域内において、区域内の歴史・地理・文化等の情報に精通し、報酬を得て通訳案内ができる者で、各自治体が行う研修受講を通じて「地域通訳案内士」として登録を受けた人になります。

### 部長ミニインタビュー



商工観光部長 久田 裕治